

# 広島市水道事業中期経営計画に係る実績について 平成26年度(2014年度)

## 1 はじめに

広島市水道事業中期経営計画(以下「中期経営計画」)は、平成26年度(2014年度)～平成29年度(2017年度)における具体的な事業運営の内容を取りまとめたものです。

この度、中期経営計画に掲げる主要施策、経営の効率化、財政収支計画などについて、平成26年度(2014年度)の実績を取りまとめました。

## 2 主要施策

本市水道事業では、「安全でおいしい水の供給」、「基幹施設の更新・改良」、「災害対策の充実」を主要施策として掲げ、計画的な施設整備を推進しています。

中期経営計画期間4か年の計画額361億3,065万円に対して、平成26年度(2014年度)の実績は56億3,896万円であり、進捗率は15.6パーセントとなっています。

主な施設整備の内容は、次のとおりです。

### (1) 安全でおいしい水の供給

水道水源の保全として水源涵養林の整備や啓発活動を行うとともに、環境負荷の低減として漏水防止調査等を行いました。

また、水質管理体制の強化として水質検査機器、残留塩素計の整備及び湯来地区簡易水道事業の再編成等を行うとともに、安心な水道の普及促進として6,563メートルの配水管布設や水道施設の整備等を行いました。

【水質検査機器の整備  
(ガスクロマトグラフ質量分析計)】



### (2) 基幹施設の更新・改良

取水・浄水・配水施設の更新・改良として施設の統廃合の関連整備や配水池の更新等を行いました。

また、配水管路の更新として、配水管の折損事故等を未然に防止するため、更新対象管路を見直した上で、26,050メートルの铸铁管・ビニル管等の更新を行いました。

【配水池の更新(坪井配水池)】



### (3) 災害対策の充実

施設の耐震化として浄水場の耐震改修等を行いました。上記(2)の基幹施設の更新・改良のうち、構造物の更新・改良、配水管路の更新についても耐震性の向上を伴う事業です。

また、バックアップ機能の強化として相互連絡管の整備等を行うとともに、応急給水対策の推進として仮設水槽等の応急給水用資器材の整備を行いました。

【相互連絡管の整備(広島南配水幹線)】



### 3 経営の効率化

中期経営計画期間4か年の削減額等20億4,833万円に対して、平成26年度(2014年度)の実績は5億7,910万円であり、進捗率は28.3%となっています。

取組内容は、次のとおりです。

項 目	削減額等 (平成26年度)	主な内容
1 人件費の削減	億 万円 5014	事務事業の見直しによる職員数の削減
2 経費の削減・収入の確保	5 2896	
(1) 工事費の削減	6098	管路のダウンサイジング(減口径)
(2) 維持管理費の削減	2 8208	受水量の見直し、督促徴収業務の見直し等
(3) 収入の確保	1 8590	未利用地の売却
合 計	5 7910	

### 4 財政収支計画

平成26年度(2014年度)について、財政収支計画と決算額の比較は下表のとおりです。

今後とも、財政収支計画の執行管理を徹底することで、平成29年度末(2017年度末)に予定する資金残高約41億円を確保し、計画的な事業経営を推進していきます。

区 分	平成26年度						差引増(△)減 (A) - (B)
	財政収支計画			決算額			
	事業費(A)	構成比		事業費(B)	構成比		
収益的収入	億 万円 255 7039	% 100.0		億 万円 261 9736	% 100.0	億 万円 △ 6 2697	
給水収益	202 3272	79.1		206 0316	78.6	△ 3 7044	
その他	53 3767	20.9		55 9420	21.4	△ 2 5653	
収益的支出	307 6091	100.0		305 2077	100.0	2 4014	
人件費	115 8931	37.7		114 7853	37.6	1 1078	
維持管理費	91 6543	29.8		90 0684	29.5	1 5859	
減価償却費	80 4162	26.1		81 2009	26.6	△ 7847	
支払利息	19 6455	6.4		19 1531	6.3	4924	
収益的収支差引(純損益)	△ 51 9052	—		△ 43 2341	—	△ 8 6711	
資本的収入	億 万円 69 5636	% 100.0		億 万円 43 4653	% 100.0	億 万円 26 0983	
企業債	49 3990	71.0		29 2190	67.2	20 1800	
その他	20 1646	29.0		14 2463	32.8	5 9183	
資本的支出	156 0639	100.0		127 7931	100.0	28 2708	
建設改良費等	96 1084	61.6		68 0576	53.3	28 0508	
元金償還金	59 9555	38.4		59 7355	46.7	2200	
資本的収支差引	△ 86 5003	—		△ 84 3278	—	△ 2 1725	
損益勘定留保資金等	67 1359	—		70 5436	—	△ 3 4077	
利益剰余金	19 3644	—		13 7842	—	5 5802	
資金残高	億 万円 56 6451	% —		億 万円 65 4788	% —	億 万円 △ 8 8337	
企業債残高	億 万円 817 0618	% —		億 万円 787 9918	% —	億 万円 29 0700	

## 5 目標管理

主要施策を計画的に推し進めるなどした結果、平成26年度末(2014年度末)における達成状況は、下表のとおりです。

引き続き、中期経営計画に掲げる取組を着実に実施することで、目標の達成に向けて取り組んでいきます。

項 目	算定方法等	平成26年度末【実績】 (2014年度末)	平成29年度末【目標】 (2017年度末)
1 安全でおいしい水の供給			
水質基準適合率	水質基準適合回数 ÷全検査回数×100	100.0%	100.0%
普及率 (水道施設整備率)	給水人口(給水可能人口) ÷給水区域内人口×100	97.9% (99.6%)	98.0% (99.6%)
2 基幹施設の更新・改良			
施設の更新か所数	中期経営計画期間に更新 が完了した施設のか所数	1か所	14か所
管路の更新延長数	中期経営計画期間に更新 が完了した管路の延長数	26km (平均26km/年)	104km (平均26km/年)
3 災害対策の充実			
配水池の耐震化率	耐震対策を施した配水池 容量÷配水池総容量×100	68.8%	59.9%
管路の耐震化率	耐震管延長÷管路総延長 ×100	24.5%	27.4%
4 財務体質の強化			
企業債残高	年度末の企業債残高	788億円	811億円
料金収納率	年度末の収入金額 ÷年度末の調定金額× 100	97.8%	97.8%
5 環境にやさしい水道の推進			
再生可能エネルギー によるCO <sub>2</sub> 削減量	再生可能エネルギー発電 量 ×CO <sub>2</sub> 排出係数	0.2t/年	550.0t/年
漏水率	年間漏水量÷年間給水量 ×100	3.2%	2.6%